

SDGsに興味を

諏訪ユネスコ協会
スコ協会

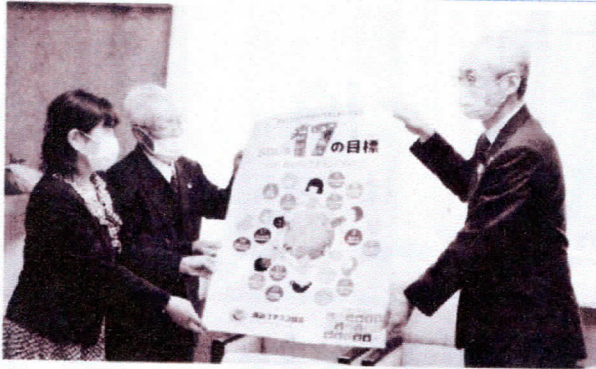
学校にポスター寄贈

諏訪ユネスコ協会は11日、諏訪6市町村の小中学校と養護学校にSDGs（国連が提唱する持続可能な開発目標）のポスター50枚を寄贈した。

訪教育会館を訪れ、各校代表の三輪晋一・上諏訪中学校長に手渡した。

矢崎靖雄会長らが諏訪市の諏

訪教育会館を訪れ、各校代表の三輪晋一・上諏訪中学校長に手渡した。



SDGsポスターを寄贈する諏訪ユネスコ協会の矢崎会長④

「質の高い教育をみんなに」など17の目標が書かれている。

SDGsは地域や企業で取り組みが進められているが、活動を子どもたちにも知ってもらい、自分たちにもできる活動を見つけ、取り組んでほしい」と初めて製作した。矢崎会長は「ポスターを各校に貼ってもらい、子どもたちにSDGsへの興味を持ってもらえたら」と期待。三輪校長は「各校での取り組みはSDGsの目標につながっているが、子どもたちはSDGsを意識してはいない。学校での取り組みが世界全体の持続可能な開発につながっていることを理解し、学習につなげていきたい」と話した。

（後藤八十晴）

「SDGs」ポスターで理解を

諏訪ユネスコ協会は11日、独自に制作したSDGs（持続可能な開発目標）のポスター50枚を諏訪6市町村の全小中学校に贈呈した。より良い世界を実現させるため掲げる17の目標に理解を深め、実践してもらおうと、諏訪校長会を通じて各校に配布した。

諏訪地域小中学校に寄贈

ユネスコ協会

ポスターは同協会役員1サイズで地球を囲む子の知り合いが経営する広どもたちのイラストを中告会社に制作を依頼し、共に、健康や福祉、教育、無償で提供を受けた。Aジェンター平等などに関



SDGsのポスターを贈る同協会役員（左の3人）

わる17の目標を記し「いま、君たちができることはなに？」と呼び掛ける。矢崎靖雄会長、田村満理副会長、安藤理恵子事務局長が、諏訪市の諏訪教育会館を訪ね、諏訪校長会代表者に贈った。矢崎会長は「SDGsが盛んに叫ばれている。子どもたちの目に付く場所に張り、一つでも興味を持って取り組んでほしい」と期待した。

受け取った諏訪校長会長の三輪晋一上諏訪中学校長は「学校で取り組んでいることはSDGsにつながっているとは思って、意識して取り組むのが大事。各学校に張り学習につなげたい」と感謝した。また、同協会が諏訪地域の小中学校に呼び掛けて回収した書き損じはがきが、全国のユネスコ協会276団体中9番目に多い40万円相当になったとし、矢崎会長は「その取り組みに感謝し、頭膨らしたい」と話した。